



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

済生会

わかやま

NEWS

第9号

発行日: 2006.10

～ 理 念 ～

私達は、地域社会に親しまれ、
信頼され、働きがいと誇りを
持てる病院を目指します。

— Information —

人間は約500万年前に二足歩行を始めたそうです。サルが時々見せる二足歩行と違って、人間の二足歩行は正確には直立二足歩行と言って、とても洗練された歩行形態です。直立二足歩行は大きな脳がある頭蓋を容易に支えることができ、器用な手を自由に使いながら歩くことができる理想的な移動形態です。このことが人間の進化に大きく貢献しましたが、その反面、直立の姿勢によって体幹や下肢、とくに脊椎と股関節に大きな負担が生じるようになりました。

これが原因で人間は腰痛と股関節痛に悩まされてきました。これらの脊椎疾患や股関節疾患は整形外科医がいつもの診療で扱う疾患で、整形外科は直立二足歩行を正常に行わせるための診療科ということができます。私たちはこれらの疾患を治癒させるために、いや正確には治癒を手助けするためにさまざまな治療法を行っていますが、ただ治癒させるだけでは十分ではありません。患者さんは体に負担の少ない、侵襲の少ない治療法を求めているので私たちもその期待にこたえる必要があります。つまり私たちは必要最小限の検査で診断し、最小侵襲の治療法を行うことを心がけています。現在、世界的に広まりつつある低侵襲手術はそのひとつの方法ですが、もちろん手術が必要ないときは保存的治療を行います。つまり将棋の用語である最善手にならえば常に最小侵襲手を考えてうたなければなりません。

当院ではさまざまな科で低侵襲手術による手術や治療が行われています。たとえば、筋肉を一切切離さない人工股関節置換術、腹腔鏡を用いた胆嚢摘出術、胸腔鏡を使った肺の腫瘍摘出術などこれらは小さな皮膚切開で行われています。また、胃カメラなど内視鏡視下の腫瘍摘出術、胃瘻設置術など、さらに四肢の血行を改善する血管再生療法なども行われています。その他にも当院でさまざまな低侵襲の治療を行っており、これからも常に患者さんにとってより負担の少ない、より侵襲の少ない治療法を提供していきたいと考えています。



副院長 松崎 交作

外科・心臓血管外科の特徴

外科部長 重里 政信

当院の特徴は200床と規模の小さな病院であることです。当科スタッフ同士の連携は当然のこと、内科・循環器科などの関連科との連携も非常に密に行えます。その結果患者様は当院を受診後、検査・診断・治療（手術、投薬）の流れがスムーズに無駄なく行われています。

たとえば下肢の動脈閉塞の患者様は心臓の虚血性疾患、糖尿病、腎臓病などを合併していることがほとんどです。確定診断のために行う血管造影は全例循環器科の医師に依頼し、下肢動脈造影と同時に心臓の冠動脈造影も行っています。その時に無症状の冠動脈疾患が見つかることもしばしばです。手術前後の血糖調整には糖尿病代謝内科の医師が協力、より正確で安全な手術が可能になります。

消化器科で胃カメラの検査中胃がんが発見された場合、即時に内視鏡室に外科の医師が呼ばれます。両科で内視鏡所見を一緒に観察、その後の検査・手術など治療方針を決定します。このように当院は縦割り組織の大病院とは違った患者様中心の合理的な診療が進められます。早く治療しなければいけない病態には手遅れにならないように、じっくり経過観察しなければいけない病態にはより慎重に病院全体で対応しています。他科との連携を深めることにより毎日の臨床手術だけでなく、自分たちの専門分野だけでは思い浮かばない発想が出てきます。

和歌山、関西では当院外科でしかできない治療（血管新生療法、下腿より末梢への動脈再建術、静脈弁形成術、左開胸食道癌手術、開腹肝臓癌焼灼術など）や、当院外科が初めて行ないその後で他の病院に普及していった治療（食道静脈瘤内視鏡下硬化結紮術、胸腔鏡下肺切除術、下肢静脈結紮など）が多いのも他科との連携の結果です。（もちろん、一般的な手術もたくさん行っています。）論文・学会活動も非常に盛んで、その殆んどが実際の臨床に関するものです。また本年1月からは主にリンパ浮腫の治療ため、高垣有作先生に外来（火曜）、手術をお願いしています。和歌山市では他にない治療なので大いに期待しています。



3階西病棟のご紹介

看護師長 増谷 ゆかり

熱烈な済生会ニュースの読者のみなさん、こんにちは。今回は当院三階西病棟をご紹介させていただきます。当病棟は循環器内科と心臓血管外科の併せて29床の混合病棟となっております。入院される患者様の疾患としましては循環器内科では狭心症・心筋梗塞・さまざまな不整脈・心不全といった疾患が多く、心臓血管外科では閉塞性動脈硬化症や下肢静脈瘤、腹部大動脈瘤といった疾患が多くなっております。循環器内科では心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈拡張術（いわゆる風船療法）を実施されることが多くなっています。

また心臓血管外科では手術となる場合が多くなっており、その他血管新生療法等最先端の治療も実施しております。いずれについても各治療に応じて患者様が安全・安楽にお過ごしいただけるよう常に最大限の配慮を心がけております。現在病棟スタッフは病棟師長以下19名で、明るく、患者様に気軽に声をかけていただける病棟をモットーに、最新の治療や患者様の急変にもすばやく、的確に対応できるよう日頃より研鑽を重ね、がんばっております。



医事課のご紹介

医事課長 吉澤 有希子

はじめまして、私たちは職員4名と委託職員で医事課を担当させていただきます。

主な業務として、患者様の受付、診療報酬の算定および請求、病床管理、健診業務で医事統計等を担っております。

紹介状をお持ちの患者様については、地域連携室を通じ事前にご予約をいただくことで、できるだけ待ち時間短縮に努めております。

また再来受付機、及び自動精算機の設置により、受付窓口及び会計窓口の混雑を避け、患者様にはよりスムーズな対応も心掛けております。

請求業務におきましては、平成16年9月より電算しせを導入し、当初は慣れないことにとまどいや不安を感じておりましたが、現在は委託職員と共に業務改善に努め、ようやく業務時間の短縮等軌道にのってきたところです。

また今回平成18年4月には診療報酬の大幅なマイナス改訂がありましたが、患者数の確保に努める為、医師、看護師の協力の下、効率の良い病床管理を行っています。

今後急性期病院が取り組むべき大きな課題となっているDPC導入については、当院でも大きなテーマとなることは必至です。われわれ医事課職員もそのことを念頭に、患者様の立場に立って質の高い医療を提供できる一助となれるようがんばってまいります。



内視鏡室よりお知らせ

消化器科部長 川口 雅功

10月からハイビジョン型上部・下部内視鏡電子スコープ（オリンパス社製260シリーズ）の導入を行います。画質の鮮明化で、より精度の高い内視鏡検査・治療を目指したいと思っております。また、和歌山県内の病院施設で初めて、NBI（Narrow Band Imaging）の併用通常内視鏡観察も可能となりました。食道では、がんの部分茶褐色の部分として認識できることが報告され、ルゴール染色法なしでの早期食道がん、下咽頭がんの発見が期待されております。

同時に経鼻内視鏡の導入も行う予定です。より苦痛の少ない内視鏡検査を提供したいと思っております。よろしくお願い致します。

江本内科医院 江本 正直先生

昭和61年7月に岡公園の近くで開業し20年が経過しました。幸い、済生会和歌山病院は旧病院ならびに移転後の新しい病院ともに距離的に大変近く、患者さんの精査、治療さらには緊急時の対応に頻繁にお世話になっております。紹介に際し、いつも迅速な御連絡と詳細なお返事を頂き、多くの患者さんも病院の先生方、看護師さんから大変懇切に納得した医療を受けられたと喜んでくれ、感謝しています。済生会病院は大病院と異なり地域医療連携室を通して患者さんの紹介等がきわめてスムーズに行われ、また院内において各科の横の連携が密なため、患者さんの病状に応じて他科の医師にも直ぐに診ていただき助かっています。

さらに診療面以外にも、病院主催の東臨床研究会のほか、和歌山市医師会内科部会に対しては、副院長の山本先生を中心とした地域循環器疾患懇話会をはじめ、他の診療科の先生方の御講演を通じて、私たち開業医の生涯教育と病診連携に御理解いただき感謝いたしております。特に年3回開催される東臨床研究会は単に生涯教育に留まらず、病院内の各先生方を知る良い機会であり、これこそが病診連携の根本であると考えられますので、私たち開業医は一人でも多く出席し、この会をもっと活気のあるものとしようではありませんか。



済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成18年10月1日より)

	内科・糖尿病代謝内科・消化器科			循環器	放射線	外科・心臓血管外科		整形外科		リハビリ テーション科	脳神経外科		耳鼻 咽喉科	腎センター	眼科	皮膚科	
	2診	3診	4診			9診	8診	13診	14診		7診						
月	午前	山原邦浩	梅田恭史	井関良夫	木村桂三	—	重里政信	—	松崎交作	西山大介	担当医	林 靖二	乾 芳郎	上野ゆみ	松尾恒久 梓谷ゆり	井上喜久彦	山本有紀
火	午前	文野真樹	江川公浩		山本勝廣	—	駒井宏好	高垣有作	船岡信彦	本田高幹	担当医	仲 寛	—	上野ゆみ	松尾恒久 梓谷ゆり	井上喜久彦	—
水	午前	山原邦浩	川口雅功	荒古道子	尾鼻正弘	野村尚三	重里政信	—	新患診		西田秀樹	乾 芳郎	—	森山智美	松尾恒久 梓谷ゆり	井上喜久彦	—
木	午前	文野真樹	江川公浩	井関良夫	木村桂三	—	駒井宏好	—	松崎交作	西山大介	担当医	仲 寛	林 靖二	上野ゆみ	松尾恒久 梓谷ゆり	井上喜久彦	岡本勝行
金	午前	川口雅功	荒古道子	梅田恭史	山本勝廣	—	中村恭子	柴田正幸	船岡信彦	本田高幹	担当医	中川真里	—	上野ゆみ	松尾恒久 梓谷ゆり	宮崎賢一	—

※内科 井関 (一般) 川口 (肝/消化器)
江川 (糖尿病・代謝) 文野 (肝/消化器)
荒古 (糖尿病・代謝) 山原 (肝/消化器)
梅田 (糖尿病・代謝)

【受付時間】 午前 (全科) 8時45分～11時00分
*土曜日は休診となりましたのでご注意ください。

地域医療連携室から

地域医療連携室 主任 上野山 勝代

平成18年10月済生会和歌山病院のホームページ【<http://www.saiseikai-wakayama.jp/>】がリニューアルします。診療部門における科の特徴・スタッフ紹介・対応疾患・検査設備治療法・実績などより充実したものを掲載させて頂きました。地域医療連携室のコーナーではご紹介患者さまの予約方法・各種検討会のご案内をご覧頂けます。また「診療予約申込書」・「検査予約申込書」などダウンロードすることが可能となりましたのでお気軽にご利用下さい。

9月1日よりMSW担当職員が増員されました。

新スタッフのご紹介



新スタッフ名 北原智子

地域の先生方には、ご指導・ご鞭撻を頂き、一日も早く信頼にお答えできるよう努めてまいります。

【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成18年4月…159件 5月…220件 6月…207件 7月…204件

のご利用頂きありがとうございました。

研究会

●第26回和歌山和歌山東臨床研究会●

参加ご希望の方は地域医療連携室までご連絡下さい

日時：2006年10月28日 (土) 午後3時～5時
場所：済生会和歌山病院 講堂 (7階)

診療案内

診察日：月～金曜日
受付時間：午前8時45分～午前11時 (但し、予約患者様はこの限りにあらず)
休診日：土・日・祝祭日 (年末年始)
面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187